日退教発14‐16号

（FAX送信）

2014年6月23日

日本退職教職員協議会

各単会　会長様

日本退職教職員協議会

会長　西澤　清

「沖縄と連帯する日退教第5次沖縄交流団」団員の募集について

「戦争をする国づくり」に猛進する安倍内閣は今週中にも集団的自衛権行使容認の閣議決定を行おうとしています。さらに自民党は協議をすすめる公明党に「集団安全保障」に踏み込むことを提起しています。自衛隊を海外での戦争に送り、日の丸を立てさせることに執着しています。これは日本が戦争に巻き込まれ、海外で命の危険にさらされるだけでなく、日本国内が「テロ」の標的になることを意味します。危険な策動をなんとしてもとめなくてはなりません。

国土のわずか、0.6％しかない沖縄に、米軍専用施設の74％を強要しています。

昨年12月27日に、仲井真沖縄県知事は、政府が米軍普天間飛行場の移設に向けて申請した名護市辺野古沿岸部の埋め立てを承認しました。

1月19日に行われた名護市長選では、辺野古基地新設に反対する稲嶺進現市長が容認派候補に大差をつけて当選しました。当選後、稲嶺名護市長は「市長権限で辺野古移設を阻止する」と明言しています。

一方4月27日に投開票された沖縄市長選は、経済活性化を主張し、普天間の辺野古への移設については避けた自公推薦の桑江朝千夫氏が移設反対を掲げた島袋芳敬氏を破り、当選しました。政府は、辺野古基地建設工事の入札・工事着工を早めるとともに、陸上輸送路の変更、立入禁止海域の拡大など、県民の反対を押し切り強行突破する姿勢を強めてきました。

今年11月には沖縄県知事選が予定されています。普天間基地撤去・辺野古新基地建設反対のたたかいの大きな山場となります。

日退教はこれまで4次にわたり沖縄交流団を派遣し、現地沖縄で退教の仲間と合同の学習を行い、さらに退教の皆さんの案内でフィールドワークにとりくんできました。ある時は、現地ゲート前行動に短時間ではありましたが参加するなど、連帯を深め、共に「普天間基地撤去・辺野古新基地建設反対」でたたかっていくことを確認しました。

特定秘密保護法、武器輸出三原則の見直し、国家安全保障会議（日本版ＮＳＣ）の設立……そして集団的自衛権行使容認から集団安全保障体制へ。これまでの沖縄の運動を改めて学び、現地で交流することはこれからの私たちの運動に大きな力になることと思います。

会員のみなさまの積極的な参加をお願いいたします。

記

１　日程　　　　　　2014年 9月28日（日）午後1時現地集合

午後1時30分から結団・全体会・合同学習会

9月29日（月）フィールドワーク（基地・戦跡めぐり）、

懇親交流会　解団

　　　　　　　　　　　（詳細な日程は沖縄県・高退教と協議の上、「案内」でお知らせします。）

9月30日（火）オプショナルツアー

　　　　　　　　　　　　　　　　　　希望者によるオプションです。（予定：高江ヘリパット建設地　現地でたかかう仲間を応援。ロングドライブになります。一日がかりの行動です。参加してこの日に帰る方は夜便をご予約ください。）

２　集合・解散　　　現地集合、現地解散となります

３　交通・宿泊　　　現地までの交通手段、宿泊は各自ご手配ください。

（9月29日の懇親交流会は夜8時過ぎに終了、その後解団となりますので、29日の宿泊もご準備ください。）

４　参加費　　　　 10,000円

（現地視察バス代、会場費、交流会費、昼食代1回、講師謝礼。終了後精算致します。）

５　申し込み締め切り　　参加申し込みは各単会へ（9月5日（金）日退教締め切り）

以上

「沖縄と連帯する日退教第5次沖縄交流団」

参加者申込み名簿

申し込み日　2014年　　月　　日

単会名

連絡責任者

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 参加者お名前（年齢） | （〒）　住　所 | 電話 | Fax |
| **（　　）** | **（〒　　　　　　　　）** |  |  |
| **（　　）** | **（〒　　　　　　　　）** |  |  |
| **（　　）** | **（〒　　　　　　　　）** |  |  |
| **（　　）** | **（〒　　　　　　　　）** |  |  |

注　締め切り　「第5次沖縄交流団」参加者申し込み締め切りは9月5日（金）です

（会員への連絡周知の関係でさらに遅れる場合はご連絡ください）

**日退教　FAX　03-5275-2081**